

シラバス参照

開講年度	2018
講義コード	030550JB
科目ナンバー	[APS]-[Com]-[200]
開講セメスター	夏セッション1
講義名・クラス名	特殊講義(APS専門)JB
担当教員	薬師寺 公夫
備考	注意:夏セッション1は7月29日(日曜日)から8月2日(木曜日)に開講されます。7月29日は日曜日ですが、授業は実施されますのでご注意ください。 Note: The period for Summer Session I this academic year is July 29 - August 2, Sunday - Thursday. Please note that lectures will be held on July 29, regardless of whether this day falls on a weekend. セッション期間の科目は、卒業予定日を含む最終セメスターでは履修できません。 No session courses may be registered during a student's semester of scheduled graduation. Students who have taken this Special Lecture with the same professor and the same content are prohibited to register for this course a second time. 同じ教員および同じ内容の特殊講義をすでに履修したことがある学生は、再度受講することができません。

講義分野	国際関係と日本 当フィールドの設定は、関心のある分野に該当する科目を検索、閲覧するものです。興味のある分野を示しているだけであって、卒業に必要な単位区分とは関係がありません。単位区分については、ハンドブックを参照の上、履修するようにしてください。
履修の目安	より深く学ぶために可能であれば前期又は後期に開講される関連する国際法の授業を受講することを推奨する。
授業概要	国際社会で生じているさまざまな問題を国際社会で適用される法を通して理解するとともに日本の国内法との関連を学ぶことをねらいとしています。例えば、新聞報道やテレビ報道を見るだけでも、国際法の学習素材はいたるところに存在します。20世紀に2度の世界大戦を経験した人類は国連憲章で武力による威嚇・武力の行使を原則として禁止しました。しかし、9.11テロを境に国際社会の状況は大きく変化しています。国際法は武力の使用についてどのようなルールを定めているのでしょうか。自衛権とは、国連の集団安全保障制度とは一体どのようなものなのでしょうか。2014年の閣議決定で政府は集団自衛権に関する従来の統一見解を変更し、それに対応する「平和安全法制」を整備しましたが、これはどのような考え方を反映するのでしょうか。米国トランプ大統領の登場は従来の国際法秩序にどのような影響を投げかけるのでしょうか。この授業では現代国際法の基本的なルールとともにその国内法との関連について、可能な限り具体的な事件を素材にしつつ学習します。武力紛争に関するルールは国際法の一部に過ぎません。国境を越える人、物、資本、文化の移動によってさまざまな法の問題が生じます。難民の保護、国際人権保障、国際犯罪の防止抑圧、国際投資保護、自由貿易体制とWTO、越境環境損害や地球環境の保護、国際漁業問題など実に多様な問題が国際法の対象となっています。この授業は、法律を専攻する学生以外の学生を対象にして、国際法と関連する国内法の基礎知識について学ぶことがねらいです。
到達目標	この授業では大きく4つの問題を取り扱います。第1は、武力の行使及び安全保障に関する問題です。第2は、国家ということについて考えます。ここでは国家の基本的権利と言われるものと国家領域について考えます。第3は、主に海に関する問題、特に通航に関連した問題(軍艦の無害通航権、海洋汚染事故、海賊問題など)と海洋資源問題(EEZに対する沿岸国の管轄権)をとりあげます。第4は、国際人権保障の仕組みと難民保護に関する問題を取り扱います。いずれも国際社会を規律する国際法のルールと国内法特に日本法がどのように国際法と関連しているのかその相互関係を見ることにめざします。授業では各分野の関連する国際的ルール及び国内的ルールの基本的考え方について理解することをまず第1の目標とします。それを基に実際の事例にどうこれらの規則を当てはめるのかを考えてもらうことがもう一つの到達目標です。
授業方法	授業は、基本的に講義形式を用います。最初は法にとらわれないで、提起された問題に自分だったらどのように対処すべきか、あるいは紛争をどのように解決するかを考えてもらいますが、次には、そのような問題について国際法はどのようなルールを用意しているのか、それが実際にどのように適用されているのか、国際司法裁判所や国際海洋法裁判所あるいは自由権規約委員会や実際に扱われた事件、あるいは日本や他の国で国際法が扱われた事件や事例を素材として、学んでもらいます。授業ではテキストと条約集を基礎にしつつ、国際法のルールを説明します。授業で使う事件については資料を配付しますが、必要に応じて、皆さんにインターネットで資料を取りに行ってもらいます。できる限り双方向になることを期待しています。 1日に基本的には1つの分野について講義します。そこで、最初の1時限目又は2時限目については、私の方から基礎的な知識についてまず講義します。2時限目又は3時限目は、少し応用問題あるいは実際の事件を扱って、できれば前の時間で学んだ知識をこれらの実際の事件に適用したらどうなるのかを考えて、みなさんと議論したいと思います。最後の時限は、その日に学んだことについてチェックするための小テストを行い、自分の理解度を自己点検してもらいます。人数によりますが、できれば応用ではシミュレーション・ゲーム形式でLINEを使いながら、各班で議論したものを発表していく形式をとりたいと思います。
毎回の授業の概要	集中講義の日程を14回の講義で組むと以下のようになりますが、詰め込みとならないように、取り上げる対象を限定し、受講者に議論に参加してもらいます。 第1-4回 戦争の違法化、武力行使禁止原則 国際法上の自衛権、国連の集団安全保障 第5-7回 国家の独立と承認、不干渉原則 国家領域と領土紛争 第8-10回 国の領海、排他的経済水域、大陸棚 環境の保護 第11-13回 国際人権保障の仕組み 国際人権保障の仕組み・普遍的定期審査制度と人権条約制度(自由権規約と強制失踪条約を中心に) 犯罪人引渡し制度と難民保護制度 第14回 まとめ
予習・復習の内容と分量	レジュメとテキスト・参考書を予め読んでくることを望みます。

成績評価方法	出席しての議論と中間到達度テスト 50%、 授業後の到達度確認テスト 50% これらの評価は、夏期集中講義の毎回の通常授業内と、到達度テストは中間日と最終日に行う予定です。							
多文化協働学修の実践方法	集中講義（日本語科目）なので国内学生が中心だが、毎年1割程度は国際学生である。午後の時間特に最後の時間は、受講者に立場の違う別の国の役割を担当してもらい、その立場に立って主張を展開する演習形式の授業運営をする予定である。テーマにより模擬裁判形式の時も、模擬国連形式の場合もある。その場合、大体5－6人をグループにして、グループ内で国の場合は首相や外務省、法務省、野党などの役割を、裁判官グループになった場合は、一人一人が裁判官として意見を考えてもらう。可能な限り、議論の過程（途中経過）を、適時ラインを通じて示してもらうようにしたいと考えている。							
学生への要望事項	1.テキストとできればよく引用するので条約集は整えること。できれば予習（テキストの該当箇所）を読んで授業に参加すること。 2.日常的に世界のニュースに関心を持つこと。 3.授業で積極的に参加し発言してください。 4.大学図書館にもかなりの文献資料があります。また授業でふれる多くの問題の資料は、インターネットで検索可能な物がたくさんあります。積極的に国連、国際司法裁判所などに資料を取りに行ってください。							
テキスト備考								
テキスト（授業を履修する上で、購入が必須となる書物）	1.	書名*	Sシリーズ国際法			ISBN13桁*	9784641159273	
		著者名*	松井芳郎 [ほか] 著	出版社	有斐閣	出版年	版・シリーズ・巻 第5版	
		注釈	テキスト自体が相当古くなっているので授業では新しい資料で補います。					
参考文献備考								
参考文献(図書、視聴覚資料)*ライブラリーリザーブコーナーに設置	1.	書名*	国際法から世界を見る：市民のための国際法入門第3版			ISBN13桁*	9784798900803	
		著者名*	松井芳郎	出版社	東信堂	出版年	版・シリーズ・巻	
		注釈	13の話から構成					
	2.	書名*	基本国際法第2版			ISBN13桁*	9784641046498	
		著者名*	杉原高嶺	出版社	有斐閣	出版年	2014 版・シリーズ・巻	
		注釈	入門書					
	3.	書名*	実践国際法第2版			ISBN13桁*	9784797280517	
		著者名*	小松一郎	出版社	信山社	出版年	2015 版・シリーズ・巻	
		注釈	専門書で特に日本の実務を詳解					
	4.	書名*				ISBN13桁*	9784641046405	
		著者名*		出版社		出版年	版・シリーズ・巻	
		注釈						
	参考文献(雑誌、年鑑白書等)	1.	書名*	別冊ジュリスト国際法判例百選第2版			ISBN13桁*/ISSN	
			著者名*	小寺彰ほか	出版社	有斐閣	出版年	版・シリーズ・巻 国際法判例百選 第2版（別冊ジュリスト204）
			注釈					
備考								
担当教員研究室電話番号	075－813－8328（立命館大学朱雀キャンパス法務研究科）							
担当教員E-mailアドレス	国際法学会のメールアドレス http://www.soc.nii.ac.jp/jsil/index.htm を訪れるとリンク集があって国内外の国際法の資料に簡単にアクセスできます。							
E-Book および 関連ページ								